

声援を力に 白球追う

第97回全国高校野球選手権

和歌山大会



敵矢の間に生還する新翔の坂地将馬

△(19日、市和歌山との3回戦)



甲子園を目指す戦いは、いよいよ佳境を迎える。全国高校野球選手権和歌山大会は、21日から準々決勝が始まった。選手たちはスタンドからの声援を力に変えて、懸命に白球を追っている。紀南勢では、田辺工業が8年ぶりに8強入り。3回戦に残った新翔、田辺工業、田辺の戦いを写真グラフで追った。

(敬称略)



選手たちに声援を送る田辺側スタンド(20日、和歌山商業との3回戦)

△8年ぶりの8強進出を決め、校歌を歌う田辺工業の選手たち(19日、初芝橋本との3回戦)



初芝橋本戦に勝利し、タッチを交わす田辺工業バッテリー。投手那須悠哉、捕手畠中一成(19日の3回戦)



和歌山商業―田辺の始球式でボールを投げ込む田辺市中芳養小学校5年の前田愛奈さん(20日の3回戦)